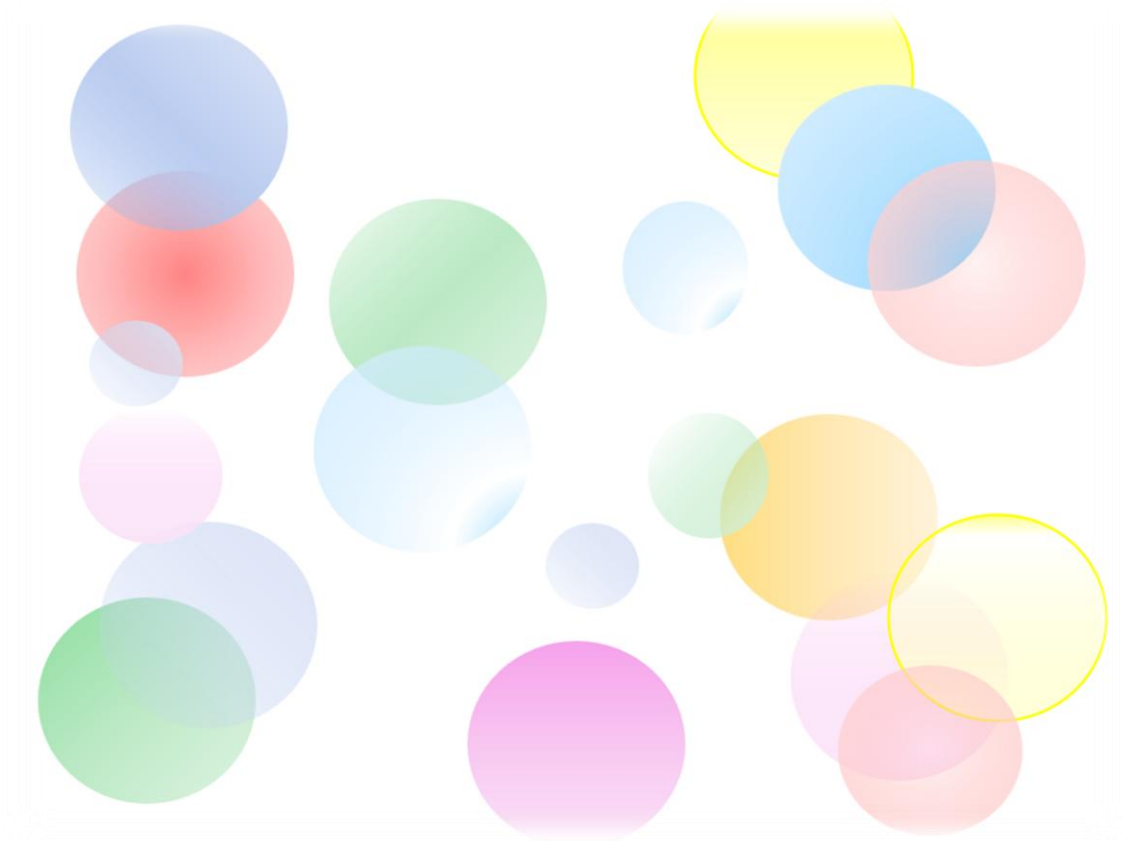


令和7年度 鹿本学園事業報告

Connect

～未来へつなぐ鹿本学園の取組～



東京都立鹿本学園

目次

はじめに	2
「Connect～つなぐ・つながる～」鹿本学園の取組	4
デジタル活用等による授業の推進	6
防災対策の強化推進	13
キャリア教育の推進	18
地域と支える教育活動の充実	22
安全対策と危機管理の強化	29
未来への人材育成	32
働き方改革	34

はじめに

鹿本学園は今年度、開校12年目を迎えました。これまで大切にしてきた積み重ねを基として、「Connect:地域等とつなぐ・つながる」「Change:変化への対応・踏襲にとらわれない柔軟性」「Challenge:創造性を豊かにした新しい挑戦」をスローガンにし、1年間教育活動に取り組んできました。

「Connect」には、子供たちの学びを地域に「つなげる」、社会参加に「つなげる」、そして、防災の取組を強化し、子供たちの命を守り、「つなぐ」という願いを込めています。

教員は ICT 支援員や外部専門家の活用そして様々な研修を通して、日々、支援や教材・教具の質の向上を目指しています。

また、それによって培ったスキルやノウハウを、本校のセンター的機能を活用して地域の特別な支援を必要とする全ての子供たちに「つなげる」ことで、鹿本学園は「誰一人取り残さず、全ての子供達の可能性を引き出す共生社会の実現」を目指しています。

「Connect～つなぐ・つながる～」

鹿本学園の取組

1 デジタル活用等による授業の推進

- 外部との協同開発(ICT 支援員・外部専門員)

- ・ICT 教材シートの活用・教材やアプリの開発・紹介

- 研修の推進

- ・ICT 支援員のミニ研修 ・外部専門員による研修

- 授業の様子

2 防災対策の強化推進

- 命を守る拠点作り

- ・福祉避難所設営訓練と拡大危機管理訓練の平行実施

- ・地域・行政と連携した救命救急訓練の実施

3 キャリア教育の推進

- 情報発信による選択拡大

- ・進路だより発行・行政説明会

- 現場体験・実習の拡充

- ・知的障害教育部門中学部:現場体験・親子施設見学の実施

- ・肢体不自由教育部門高等部準ずる課程:大学見学・企業実習開拓

4 地域と支える教育活動の充実

- 登下校・余暇活動等の連携

・放課後等デイ、移動支援、事業所との連絡会

●医療的ケアネットワークの連携

・訪問看護・就学前、卒業後施設・事業所・行政等との連携

●社会資源を生かした行事の実施

・江戸川区総合体育館、行政、企業と協同した体育発表会の実施

・パラスポーツ交流 ・移動動物園 ・芸術鑑賞会

5 安全対策と危機管理の強化

●不審者対策の徹底

・抑止力となる環境づくり ・リアルな不審者訓練の実施

●熱中症対策

・企業と連携した熱中症把握システムの試行(カオカラ)

・プールの対策

6 未来への人材育成

●介護体験生受入拡大

●医療・看護関係実習、講義の充実・専門学校対象

●福祉・教育連携、講義の充実

7 働き方改革の推進

●学校スタッフ意識改革 ・業務の可視化

・タイムマネジメント開始 ・週案改訂

●デジタルを活用した業務改善

・QRコードの活用 ・購入請求書のデジタル化

デジタル活用等による授業の推進

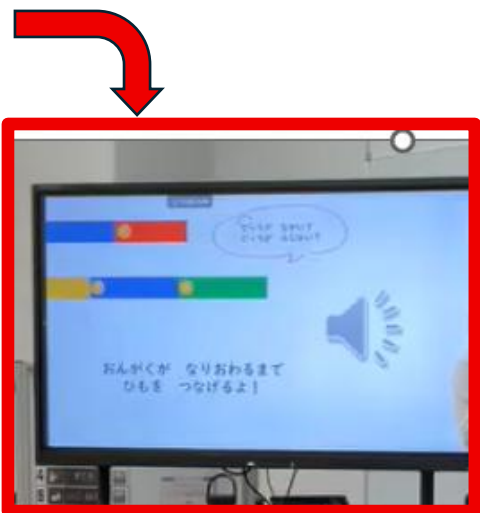
1 外部との協同開発

本校 ICT 支援員と連携し、「ICT 教材シート」を教員が作成し、ICT 支援員に相談することで、デジタル教材を開発していただいています。写真(上)は、知的障害教育部門小学部・算数における「長い・短い」の単元での活用例です。

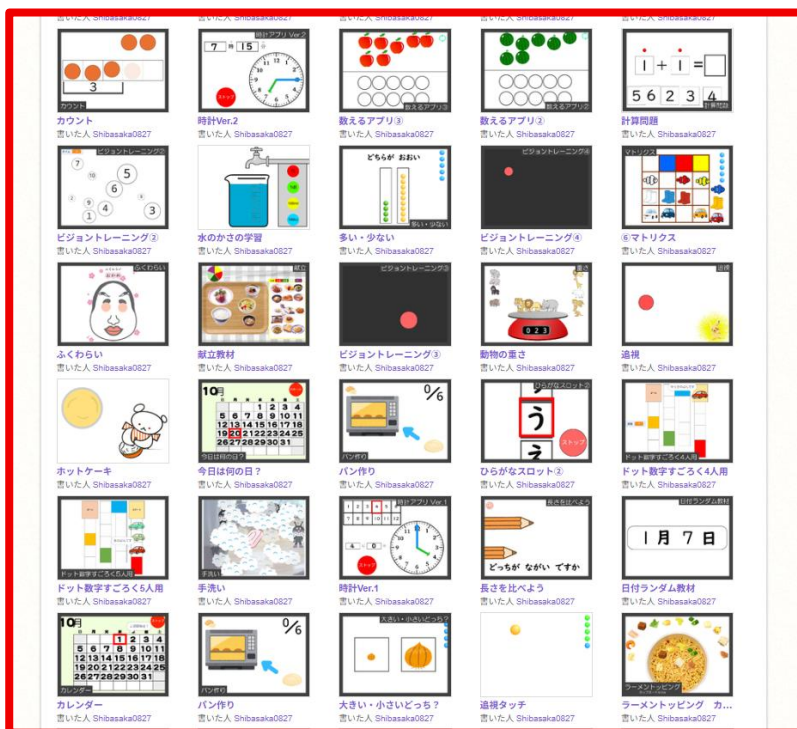
今年度、ICT 教材シートのもと、開発されたデジタル教材は、約**50**点です。

ICT 教材シートの活用

ICT 教材 作成シート (N 部門 小学部 4年・)		
教科	単元	保存場所 (紙で提出された場合に参照します)
算数	長い・短い	※提出フォルダを整え次第、記入例を入れる。
ねらい(この教材で何を教えたいか できるだけ具体的に…)		
・視覚教材を見て長い、短いを理解する。		
なぜ ICT 教材を使いたい (授業の導入/展開/まとめ…どの部分で使うか、など)		
・画面上で操作することで、児童が理解しやすくする。導入部分で活用し、そのあとの展開部分で、実際、紐を用いて長さを比べることで、リアルの視点でも理解できるようにする。		
具体的なイメージをイラスト等で…(印刷後、手書きでも OK、)		教材リンク (作成後記入)



教材やアプリの開発・紹介

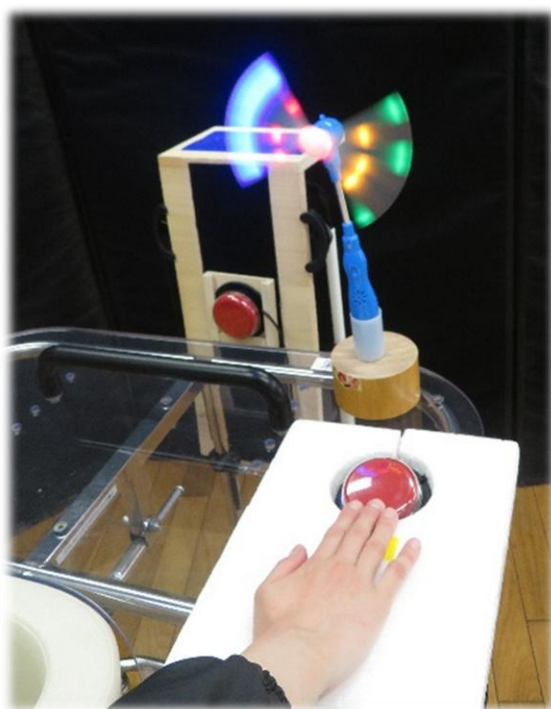


国語教材:	20点
算数・数学教材:	20点
その他:	10点

教材やアプリの開発・紹介

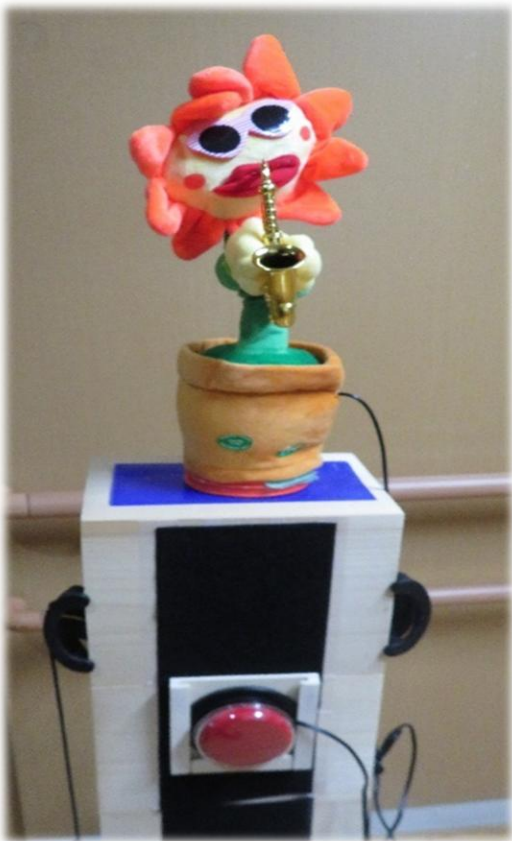


本校外部専門員との連携により、スイッチ教材を多く開発しております。児童・生徒が自ら学ぶための取組として、「自分でやった」「できた」「うれしい、もっとやってみよう」といったサイクルを生み出し、主体性の育成につなげるために必要不可欠な教材です。



スイッチボタンを押すと、風車が光って回る教材。発砲スチロールの補助具で段差を付けることで、指を自分で動かし、スイッチを押せるように工夫しています。





フラワーロックのおもちゃにスイッチ教材を設置。
ウォーカー(歩行器)の前に配置して、「一歩進んでス
イッチを押したい」という意欲を高め、自発的な歩行
を促しています。



フラワーロックをボッチャのランプに設置。スイッチ教材でボッチャのボールを投げると、フ
ラワーロックが動く仕組みです。

ボールを投げることができた、と達成感を得ることで、主体性を伸ばしています。

スイッチ教材:約40点

デジタル教材 計90点

研修の推進

8月29日(金)ICT 支援員によるデジタル活用基礎講義



令和7年度 デジタル活用チェックシート					
部門		■チェックの各段階			
学部		4: いつでも自信をもって取り組んでいる。			
氏名		3: 普段から取り組んでいる。			
		2: 現在少しずつ取り組んでいる。			
		1: 今後達成に向けて取り組みたい。			
チェック項目		チェック	中間	チェック	年度末
ICTの活用 ・タブレット端末の活用 ・Microsoft Office365の活用 等	①タブレット端末やICT機器を扱うことができる。				
	②Microsoft Teams等オンラインシステムを使うことができる。				
	③Copilotを使うことができる。		0		0
	④ICTを活用して主体的・対話的で深い学びに向けて実践している。				
	⑤他者にICT機器の使い方やオンラインの方法など助言できる。				



12月1日(月)ICT 支援員によるデジタル活用の実践研修会

本校では、GIGAスクール端末やスマートスクール端末の活用並びにデジタル教材の活用について教員が学びを深めるため、ICT 支援員との連携による研修会を実施しています。

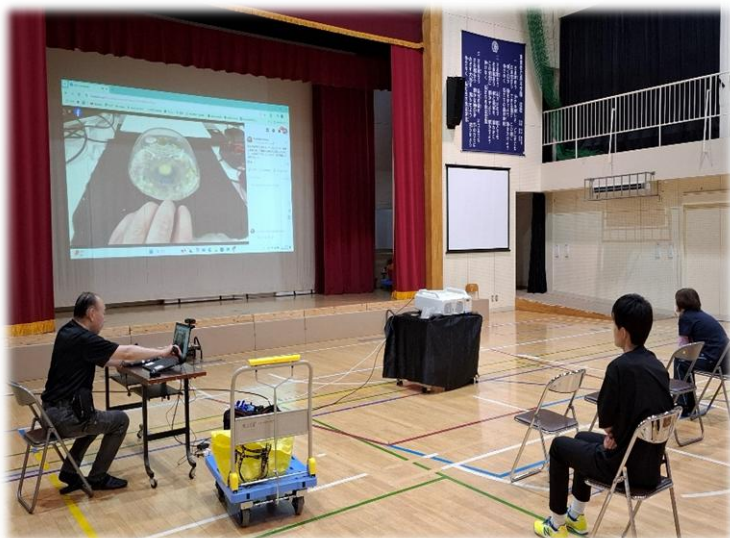
8月29日(金)、夏季研修中に、ICT 機器についての研修を行いました。この研修では、teams や iPad など、デジタル活用の基礎的な内容について学びました。9月～10月にかけて、ICT ミニ研修を9回実施し、小人数に行うことで、個別に悩みなどを質問することができました。

12月1日(月)、株式会社内田洋行の方を講師にお招きし、体育館全面を活用し、5つほどのブースに分かれたデジタル教材活用の研修会を実施しました。

段階を追いながら複数回の研修を行ったことで基礎から応用までを学ぶことができました。

ICT 研修:年間 11 回

5月20日(火)外部専門員によるスイッチ教材についての研修



5月20日(火)、本校外部専門員 木村利信先生によるスイッチ教材についての研修を実施しました。作り方の基礎から、教材を通して児童・生徒にどのような力を身に付けてほしいのか、といった視点が大切であるということ学びました。



発砲スチロールでできている握るスイッチ。



アルミでできているタッチセンサー。

児童・生徒が手を触れることで反応します。様々な教材に接続・設置することで、児童・生徒の微細な動きで引き出すことができます。

授業の様子

～各教科での実践～



国語「敬語について」の学習では、教員によるオリジナルの手本動画をモニターに映して見ることで、気付きを促すことができました。



国語「ひらがな」の学習では、集団でクイズ形式に学習を進めながら、手元では、個別のタブレット端末を用いて、一人一人のペースで確実に理解を得ながら取り組んでいます。



算数「お金」の学習では、お題をモニターで共有し、個々が手元のボードで計算をし、答え合わせをまた全体でモニターを活用して理解を深められる工夫をしています。

算数「大きい・小さい」の学習では、全体で学習を進めるとともに、個々のタブレット端末も活用し、個別最適な学びの充実を目指しています。

「丸・三角・四角」の学習では、皆でモニターに注目し、タッチパネルで問題を解いていきます。皆で答えを確認しながら協働的な学びに取り組んでいます。





日常生活の指導
係活動 スイッチ教材を用いたバスカードの貼付



図画工作スイッチ教材を用いたはさみの活動

肢体不自由教育部門では、外部専門員との協同で開発したスイッチ教材を様々な授業で生かしています。スイッチやタッチセンサーを使った教材を製作することで、一人一人の児童・生徒の実態や課題に合わせた学習の実践につなげています。

場面や用途に沿って、「握るスイッチ」「タッチセンサー」を教材に取り付け、車いすやウォーカー(歩行器)からの目線や手足の動かし方に合うように各スイッチの設置位置を工夫しています。

毎日の係活動などに取り入れて積み重ねていくことで、児童・生徒が「ここを押すとできた」ということが理解でき、「自分でできた」「またやりたい」「できてうれしい」「もっとやりたい」という気持ちを育てることを目指しています。

防災対策の強化

命を守る拠点作り

8月26日(火)福祉避難所設営訓練 ※拡大危機管理訓練との並行実施



8月26日(火)、救命訓練シュミレーター贈呈式を行いました。

東京東江戸川ロータリークラブ様より、救命訓練シュミレーター(訓練用人形)を御寄贈いただきました。本校で贈呈式を行い、本一色自治会の方、江戸川区危機管理部の方、株式会社京都科学の方々に御参加いただき、教職員は御寄贈いただいたシュミレーター(人形)を用いた心肺蘇生法の訓練を行いました。



贈呈式に引き続き、夏季拡大危機管理委員会を実施し、企画室班、食糧班、物資班、避難所支援班、児童生徒安否確認班、救護班に分かれて研修を行いました。非常時発電機の動作確認や、食糧の消費期限別の入替作業などに加え、第二体育館では、実際の福祉避難所開設を想定し、江戸川区危機管理部の方と連携しながら、テント設営、ベルトパーテーションによる区画整理のシミュレーションを行いました。

救命訓練シュミレーター贈呈式・拡大危機管理委員会

東京東江戸川ロータリークラブ9名

本一色自治会 2名

江戸川区危機管理部6名

株式会社京都化学1名

9月12日(金)地域・関係機関等と連携した防災訓練



地域・関係機関等と連携した防災訓練

南小岩消防署2名

東京東江戸川ロータリークラブ2名

本一色自治会 2名

江戸川区危機管理部1名

江戸川区みんなの家2名

PTA15名

9月12日(金)、地域・関係機関等と連携した防災訓練を実施しました。
南小岩消防署に御協力いただき、煙ハウス、初期消火訓練を実施しました。

また、テント体験、非常食体験に加え、PTAの方による心肺蘇生の訓練を実施し、生徒が見学する学習を実施しました。

東京東ロータリークラブや本一色自治会、江戸川区危機管理部、江戸川区みんなの家の方々に御参加いただき、防災教育について共有をさらに深めることができました。

11月9日(日)本一色自治会防災訓練



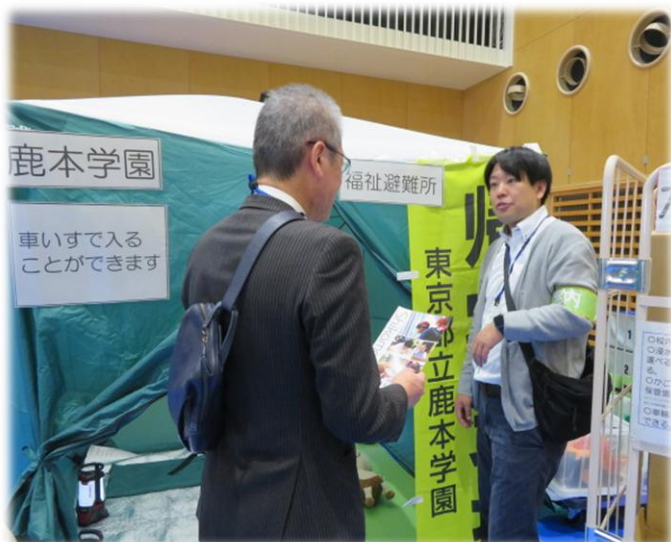
11月9日(日)、本一色自治会の防災訓練に本校の生活指導部教員等が参加しました。
マンホールトイレや、かまどベンチ、AED(心肺蘇生訓練)炊出し訓練など、参考にさせていただきたい取組をたくさん知ることができました。

今後も情報を共有し、地域と共に防災教育の強化に取り組めます。

本一色自治会防災訓練

本校生活指導部教員等 4名

11月16日(日)江戸川区防災・防犯FES



江戸川区
防災・防犯 FES
鹿本学園ブース体験者
約110名



11月16日(日)、江戸川区防災・防犯FESが実施されました。本校は、3カ所ある会場のうちの、葛西小・中学校の体育館にブースを出展いたしました。

本校の防災用品、非常食、非常用テント、救命救急シミュレーター人形、備蓄品を搭載した大型カート等を展示し、110名ほどの方に御来場いただき、小さなお子さんから大人の方まで、多くの方に心肺蘇生法の体験等に御参加いただきました。

12月3日(水)避難訓練(地震・医療的ケア機器トラブル想定訓練)



本校では、毎月1回年間で計 12 回の避難訓練を実施しています。想定内容は、地震、火災、浸水、Jアラートです。今年度は、児童・生徒在校時における不審者対応訓練も実施しました。毎月の避難行動の学習をとおして、児童・生徒は災害時の約束ごとを意識し、落ち着いて避難することができるようになってきました。

12月の避難訓練では、医療的ケア機器のトラブルがあった場合を想定した訓練を実施しました。また、第二回防災教育推進委員会を同時開催し、小岩消防署南小岩出張所所長様、東京消防庁小岩消防署警防課防災安全係地域防災担当係長様、江戸川区危機管理室防災危機管理課計画係係長様、江戸川区危機管理部災害要配慮者支援課災害要配慮者支援係係長様、本一色自治会長様、本校PTA会長様に訓練の様子を御覧いただき、終了の際、御講評をいただきました。

また、本校の多くの児童・生徒が支援いただいている移動支援事業所の8名の方にもお越しいたいただき、避難訓練見学及び本校防災教育の取組についての説明会を実施し、情報の共有を行うことができました。

今後も、関係機関等の皆様と連携をより強化し、児童・生徒の命を守る取組を行っていきます。

12月避難訓練・防災教育推進委員会

東京消防庁小岩消防署警防課 防災安全係 地域防災担当係長

江戸川区危機管理室防災危機管理課 計画係係長

江戸川区危機管理部災害要配慮者支援課災害要配慮者支援係係長

本一色自治会長

PTA 10名

移動支援事業所 8名 計24名

キャリア教育の推進

情報発信による選択拡大

進路だより

令和7年度 5月15日(木)
東京都立鹿本学園校長 堀江 浩子
(進路指導部 山村 彌敏)

第1号
 思える5月。進路指導も本格的に開始です。肢体不自由教育部門では高等部3年生の實習が1学期から始まります。また知的障害教育部門では中学部3年生が進学に向けての活動がスタートします。
 進路は高等部に入學してから考えることではなく、小学部の段階から知って考える機会にしてほしいと願い、今年度より定期的に発行いたします。年に4回発行を予定中です。

江戸川区福祉説明会

4月21日(月)は肢体不自由教育部門の中学部・高等部、22日(火)は知的障害教育部門の中学部の保護者対象に福祉説明会を実施いたしました。講師として江戸川区障害者福祉課の方を招いて御講義をしていただきました。当日は多くの保護者の方に御参加いただき、ありがとうございました。

「総合支援法で定められた通所施設」の概要

重症心身障害者施設(成人通所)
 重症の知的障害と重症の肢体不自由が重複している方に適切な医療的ケアと生活支援を行っています。東部療育センター・よつぎ療育園がこれにあたります。マイクロバス型の送迎車両が出ています。

生活介護施設
 食事や入浴、排せつ等の介護や日常生活上の支援を提供したり、軽作業等の生産活動や創作活動の機会も提供したりしています。送迎バスや送迎車両が出ます。医療的ケアに対して、対応する施設もありますが施設や区と相談になります。作業をメインにしている所やレクリエーション、創作活動等をメインにしている所など施設ごとに特徴があります。

就労継続支援B型施設
 通常の企業で働くのが難しい障害者に生産活動や就労の機会等を提供し訓練する施設です。成果報酬の「工賃」がもらえます。就労継続B型も施設によっていろいろな特色があります。軽作業や調理業務等手先や身体を使った業務をする施設が多いです。在学中パソコンを使った就労継続B型を行う事業所もありますが数は少ないです。又、通所するに



年間4回、「進路だより」を発行し、進路やキャリア教育に関する情報を発信しています。

4月21日(月)は肢体不自由教育部門の中学部・高等部、22日(火)は知的障害教育部門の中学部の保護者対象に福祉説明会を実施いたしました。講師として江戸川区障害者福祉課の方を招いて御講義をしていただきました。当日は多くの保護者の方に御参加いただき、ありがとうございました。

6月17日(火)、水元小学園進路保護者学習会に本校の保護者の方が参加しました。葛飾区の福祉サービス制度について保護者の方が理解を深める機会となりました。

11月27日(木)、本校にて保護者学習会を実施しました。一般社団法人ウイステリアサポート協会代表理事 石井文恵様を講師にお招きし、『「親なきあと」に向けていまからできること』をテーマに、御講話いただきました。卒業後の生活について具体的なイメージをもつことができました。

江戸川区福祉説明会

参加保護者数

4月21日(月) 12名

22日(火) 31名

計43名

水元小学園進路保護者学習会

参加保護者数

6月17日(火) 9名

本校保護者学習会

参加保護者数

11月27日(木) 40名



7月10日(木)
11日(金)
保護者進路先見学会
ケアセンターつばき



8月21日(木)
教員向け
進路先見学会
リベラル株式会社

7月10日(木)・11日(金)の2日間で第一回進路先見学会を実施し、「江東園ケアセンターつばき」を見学しました。

12月22日(月)第二回進路先見学会では、「PC工房・小松川支援センター」を見学しました。

生活介護事業や就労継続支援 B 型事業を見学し、卒業後の日中活動について知っていただく機会となりました。御参加ありがとうございました。

8月21日(木)、教員向け進路先見学会にて特例子会社「リベラル株式会社」を見学させていただきました。小学部の教員も多く参加し、自立に向けて必要な力について多くを学ぶことができました。

保護者進路先見学会

参加保護者数 計 50名

教員向け進路先見学会

参加教員数 6名

現場体験・実習の拡充



8月27日(水)
ジブラルタ生命株式会社での職場体験

8月27日(水)、知的障害教育部門中学部生徒が、ジブラルタ生命株式会社において、職場体験学習に参加しました。

ビジネスマナーについての知識を得たり、実際に仕事を体験させていただくことで、働くことへの理解を深めることができました。

**ジブラルタ生命株式会社での
職場体験**

参加者 5名

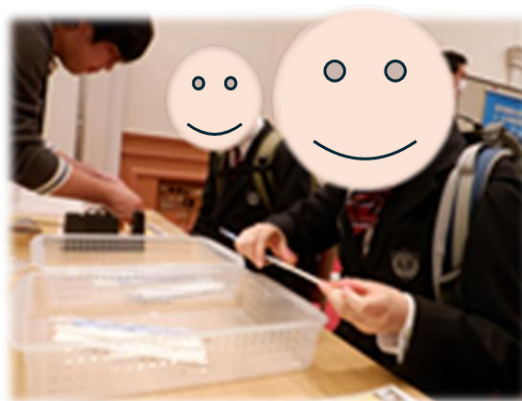


10月2日(木) ジブラルタ生命株式会社による タイピング教室

キャリア教育推進の一環として外部との連携を強化し、進路指導や保護者への進路支援に取り組んでいます。10月2日(木)、ジブラルタ生命株式会社の方に講師として御来校いただき、肢体不自由教育部門高等部主にB・Cグループ対象にタイピング教室を実施しました。タイピングの実技に加えて、社会に出た際のビジネスマナーについても学ぶことができました。



12月9日(火)江戸川区就労フェア



12月9日(火)、本校生徒が江戸川区就労フェアに参加しました。

今年度は昨年度から参加している肢体不自由教育部門Cグループに加えて、知的障害教育部門中学部3年Aグループも希望者中心に参加してきました。江戸川区や葛飾区の様々な福祉事業所のブースを見学したり、実際に事業所の方の説明を聞いたりする中で、それぞれの生徒が自分自身の進路について深く考える機会をいただける体験となりました。



江戸川区就労フェア

参加生徒数	肢体不自由教育部門	4名	知的障害教育部門	9名
参加保護者数	18名	教員	7名	計38名

大学・専門学校への見学・企業実習

専門学校見学

東京コミュニケーションアート専門学校	4回
--------------------	----

企業実習

教育庁サポートオフィス「パレット」
株式会社 沖ワークウェル
東京都チャレンジプラス TOPPAN 株式会社
東京都チャレンジプラス TOPPAN 株式会社(小石川本社)
リベラル株式会社

高等部準ずる課程では、大学の模試の受検や、専門学校の見学を推奨しています。

また、進路指導部(進路専任)中心に、企業の開拓を進めています。

様々な実習先や見学先を増やすことで、生徒自身が自らの進路を自己選択・自己決定できるよう支援しています。

企業見学

東京都チャレンジプラス TOPPAN 株式会社
東京都チャレンジプラス TOPPAN 株式会社(小石川本社)
リベラル株式会社
ジブラルタ生命保険株式会社

企業開拓

教育庁サポートオフィス「パレット」
株式会社 沖ワークウェル
東京都チャレンジプラス TOPPAN 株式会社
リベラル株式会社
ジブラルタ生命保険株式会社
株式会社 KDDI チャレンジド

企業アフターケア

株式会社 杉田製線

自立に向けて

部門	S	N
小学部	1	2
中学部	1	34
高等部	4	
部門計	6	36
全校計		42

本校では、小学部高学年から、実態や課題に応じて、一人通学練習に取り組んでいます。「自宅からスクールバスバス停まで歩く」という生徒から、「自宅⇄学校間全てを一人で登下校」という生徒まで、一人一人計画を立て、御家庭と連携して実施しています。※今年度は計42名の児童生徒が実施。

段階的な学習の積み重ねとなるよう、日々の係活動を見守りありから始め、一人で行って戻ってくるなどスモールステップでキャリア教育に取り組んでいます。

地域と支える教育活動の充実

登下校・余暇活動等との連携



放課後等デイサービスとの連携

江戸川区約60事業所内50事業所と連携をとっています。
平均した送迎車両は約50台です。
下校時のスムーズな引き渡しや、児童・生徒の支援について引継等を行うため、
年間3回の事業所連絡会を実施しています。

医療的ケアネットワークとの連携



医療的ケアに係る事業所連絡会の開催

本校の関係機関を対象に、都立特別支援学校の医療的ケアや本校の医療的ケア実施、保護者付き添い短縮化事業について情報を共有、情報交換等を行いました。

訪問看護ステーション事業所連絡会の開催

訪問看護ステーションとの事業所連絡会を実施し、
学校と連携を深くすることで、医療的ケア専用車両の送迎の実績につなげています。

卒業後施設・事業所・行政等との連携



1月22日(木)、江戸川区虹の家、みんなの家及び江戸川区看護師会の方が来校され、本校の医療的ケアの取組についての説明会を実施しました。卒業後施設との連携を図り、つながることで、スムーズな移行支援を目指しています。



放課後等デイサービス事業所連絡会

参加者数 67名

医療的ケアに係る事業所連絡会

参加者数 36名

卒業後事業所連絡会

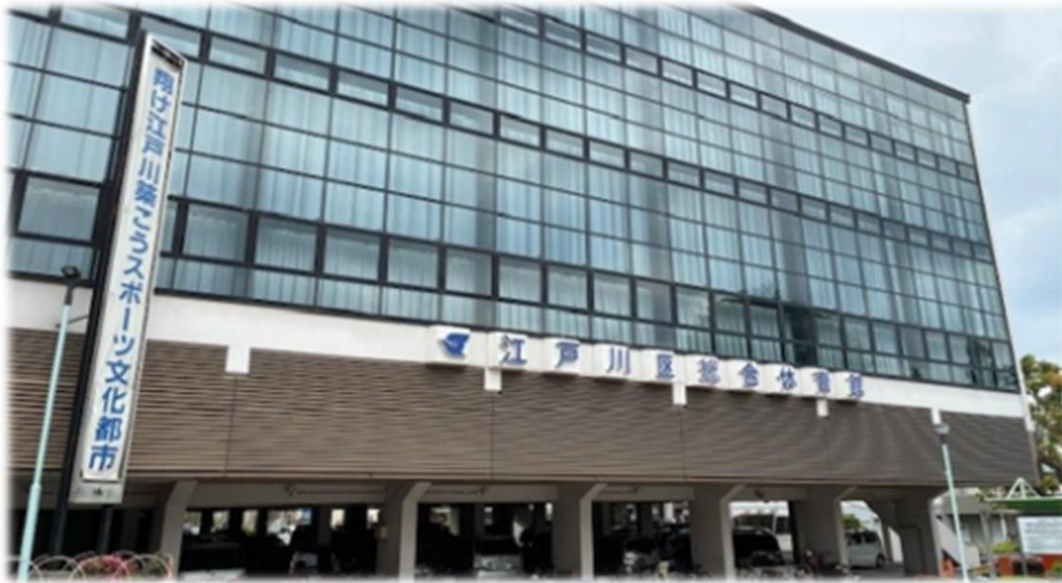
参加者数 11名

社会資源を生かした行事の実施

5月24日(土)江戸川区総合体育館での体育発表会

江戸川区と相談し、知的障害教育部門中学部では、より広い運動環境として江戸川区総合体育館を利用し、体育発表会を実施しました。

また、パラスポーツの啓発として、体育館のロビースペースの一角にボッチャの体験コーナーを設置し、地域の方や本校生徒の御家族、御兄弟に体験していただきました。



総合体育館参観者数
210 名

7月14日(月)、三菱地所株式会社連携「丸の内 ShallWe コンサート」

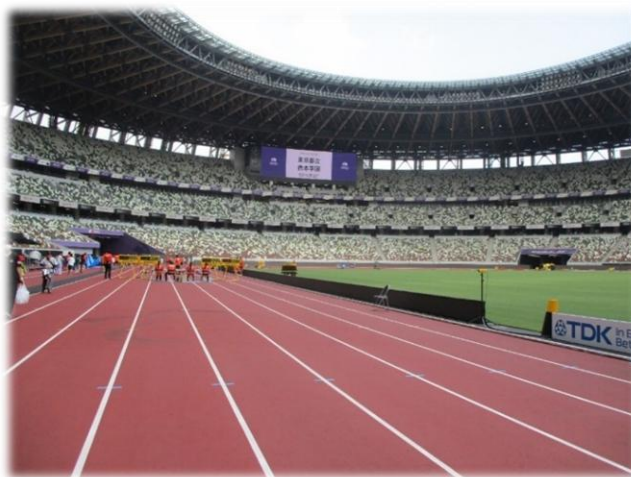
7月14日、三菱地所株式会社様と連携し、丸の内 ShallWe コンサートを実施しました。知的障害教育部門中学部が参加しました。

東京国際フォーラムD7ホールを会場に、NHK交響楽団のヴァイオリン、コントラバス、ピアノ、打楽器の方に来ていただき、クラシックやポップミュージック、鹿本学園の校歌などを演奏していただきました。美しい音色を味わうことができました。お土産もいただきました。



9月16日(火)世界陸上リアル教室

9月16日(火)、知的障害教育部門小学部5年生が、国立競技場で開催された、世界陸上リアル教室に参加してきました。34年振りに東京で開催された世界陸上。児童皆で世界のトップアスリートが実際に走るトラックを走り、「本物」の雰囲気を経験することができました。



10月11日(土)・1月10日(土)パラスポーツ交流会



10月11日(土)及び1月10日(土)、江戸川区文化共育部スポーツ振興課パラスポーツ係と共催で、パラスポーツ交流会を実施しました。江戸川区ボッチャ協会の方や、スポーツアンバサダーの方、理学療法士の方々に加えて、本一色自治会の方にも来ていただき、ボッチャ交流戦を行いました。肢体不自由部門の生徒は、本校教員が作製したスイッチ教材やランプを用いて主体的に参加していました。また、参加普段関わる機会の少ない両部門の児童・生徒がチームを組んで仲良くなったり、中・高等部のボッチャ競技部の生徒は、自治会の方と真剣勝負をしたり、と皆それぞれの楽しみ方ができ、よい交流会となりました。

パラスポーツ交流会

ボッチャ教室の方 本一色自治会

パラスポーツアンバサダー

東京都理学療法士協会

江戸川区文化共育部スポーツ振興課

本校児童・生徒 本校教員

10月11日(土) 参加者数 45名

1月10日(土) 参加者数 36名

10月29日(水)パラスポーツ交流学習



知的障害教育部門中学部 2年生は10月29日(水)、本校にて、上一色中学校とのパラスポーツ交流学習を実施しました。ユニバーサル野球盤や、東京ヴェルディ講師によるデフサッカー教室、江戸川区文化共育部スポーツ振興課パラスポーツ係と連携したボッチャなど、様々な競技、活動を通して、交流を深めました。どの生徒も生き生きと参加していました。

パラスポーツ交流学習

東京ヴェルディ講師 3名

江戸川区文化共育部

スポーツ振興課パラスポーツ係 3名

上一色中学校1年生 55名

11月17日(月)デフリンピック観戦



11月17日(月)、肢体不自由教育部門小学部Cグループが、足立区にある東京武道館で開催されたデフリンピック柔道の観戦に行ってきました。

デフリンピック競技の観戦を通して、デフリンピックへの興味・関心を高め、手話や聴覚に障害のある方々への理解を深めることができました。

11月21日(金)・22日(土)、虹輝祭におけるパラスポーツ体験



11月21日(金)・22日(土)、虹輝祭において、第二体育館を会場とし、パラスポーツ体験を実施しました。江戸川区文化共育部スポーツ振興課江戸川区パラスポーツ係の方による「ボルレッチ」「雨どいボッチャ」「サッカー(シュート)」「コーンホール」「バスケットボール(シュート、ミニボール)」のコーナーと、株式会社西川精機製作所の御協力のもと、「アーチェリー」のコーナーも設置しました。児童・生徒は、様々なパラスポーツ体験を楽しむことができ、笑顔が溢れる取組となりました。

12月2日(火)・4日(木)移動動物園



12月2日(火)・4日(木)の2日間に渡って、江戸川区環境財団及び江戸川区篠崎ポニーランド、江戸川区自然動物園と連携し、移動動物園を実施しました。TCA東京ECO動物海洋専門学校の学生さんもボランティアで参加してくださいました。二年目の取組となり、児童・生徒は期待感をもって動物たちと触れ合うことができ、貴重な体験をすることができました。

移動動物園

来校者数 76名

12月5日(金)パラ柔道体験教室



12月5日(金)、肢体不自由教育部門中学部及び高等部のB・Cグループは、パラリンピック柔道体験教室を実施しました。NPO 法人日本視覚障害者柔道連盟の監督と選手の方2名に講師としてお越しいただきました。

実際に柔道の実技を見たり、実際に柔道着を着用して、寝技や投げ技の体験をすることができました。

メダルにも触れさせていただくなど、とても貴重な体験をさせていただきました。

12月19日(金)、三菱地所株式会社連携芸術鑑賞会 ShallWe コンサート



12月19日(金)、三菱地所株式会社と連携し、本校S棟体育館にて ShallWe コンサートを実施しました。東京21世紀管弦楽団アンサンブル・ルーキスに御公演いただきました。フルート、ヴィオラ、ヴァイオリン、ピアノ、チェロの編成で、クラシックやポップミュージック、鹿本学園の校歌などを演奏していただきました。美しい音色を味わうことができました。

12月23日(火)ユニバーサル野球交流学习



12月23日(火)、肢体不自由教育部門小・中・高等部Bグループ中心に、ユニバーサル野球盤の交流学习を実施しました。

多くの卒業生の就労先である「希望の家」や「みんなの家」、そして「アゼリー江戸川」の方々にお越しいただき、パラスポーツをとおして交流を深めました。一人一人自分のやり方でひもを引っ張ってバットを振り、ボールを飛ばしました。事業所の方々と楽しいひと時を過ごすことができました。

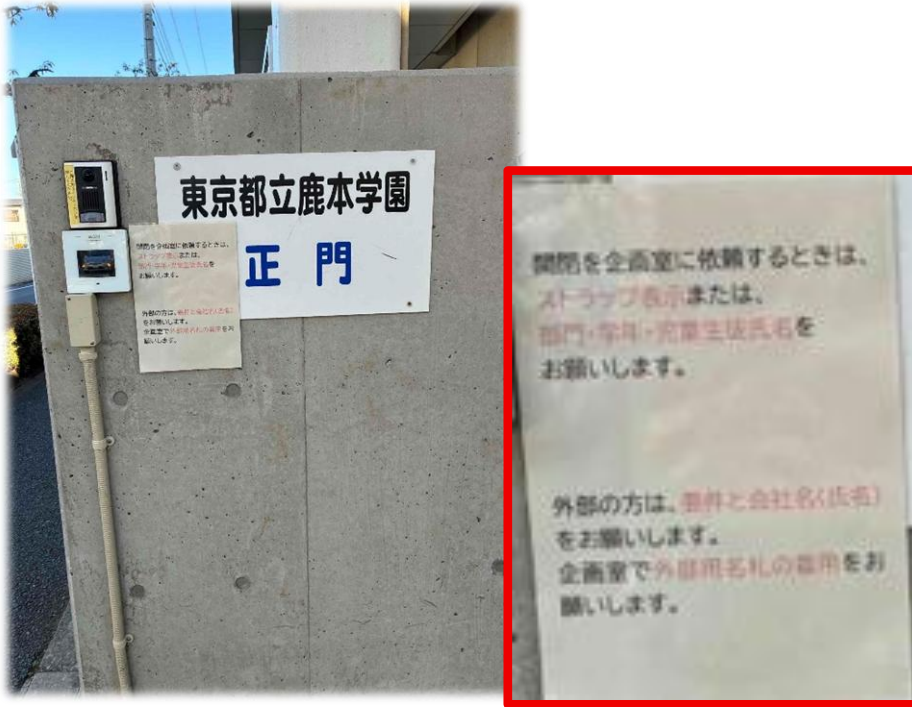
ユニバーサル野球交流学习

江戸川区希望の家	13名
江戸川区みんなの家	12名
アゼリー江戸川	13名
	計38名

安全対策と危機管理の強化

不審者対策の徹底

抑止力となる環境づくり



各門の来校者用表示



保護者・学生・外部来校者用色分けした来校者シール

本校では、安全対策を強化するために、「外部」「学生」と色を分けた名札シールを活用しています。

また、児童・生徒が在校している時間帯は、各門の施錠を常時し、来校者は、インターホンで「所属・氏名・用件」を名乗っていただいております。入口各門に「所属・氏名・用件」を名乗っていただく旨の表示を掲示しています。

また、スポーツゾーンの門が開放したままになることを防ぐために、授業参観の受付場所を企画室前玄関に一本化するとともに、保護者証をお忘れの方には「保護者シール」をお渡しし、誰が何の目的で来校しているのかを明確にする工夫を行っております。

リアルな不審者対応訓練の実施



5月16日(金)臨時不審者対応訓練

けが人が出たケースを想定し、ブルーシートで囲いを設定し、児童・生徒の不安感を取り除けるようにし、落ち着いて避難行動をとれるようにしています。



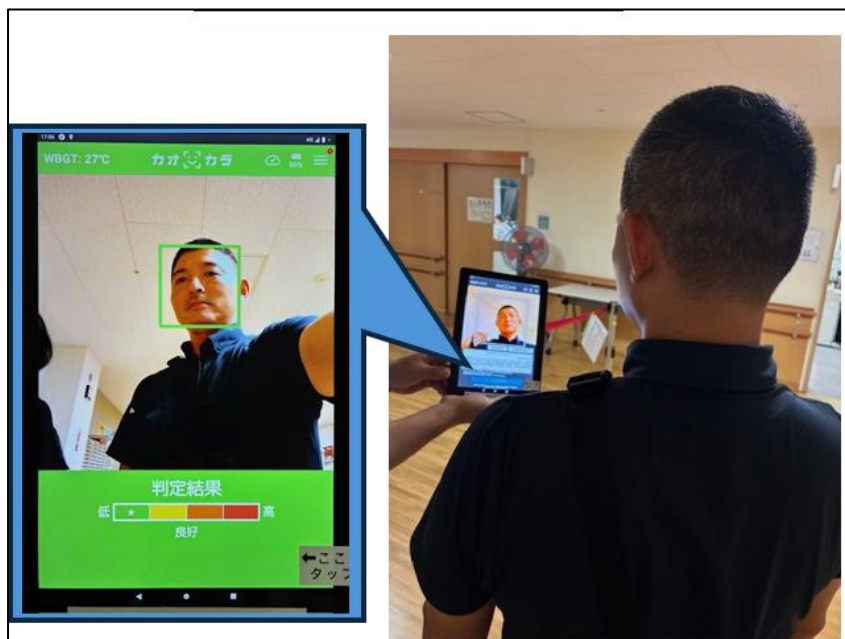
7月16日(水)警察の方と連携した不審者対応訓練

5月16日(金)、立川の小学校で起きた事件を受け、数日後に、実際に児童・生徒が在校している時間帯における臨時の不審者対応訓練を実施しました。保護者の知人だと言って侵入したケースを想定とし、声掛けの仕方や、けが人が出た場合の対応などの内容を訓練に取り入れました。児童・生徒の安全確保のため、緊急の放送を聞いて各々の授業者が活動場所を施錠するなど、実際に想定して実施しました。

7月16日(水)、小岩警察署スクールサポーターの方を講師にお招きして、不審者対応訓練を実施しました。不審者への声の掛け方や距離の取り方、さすまたの効果的な使い方などを御指導いただきました。

熱中症対策

企業と連携した熱中症把握システム(カオカラ)の試行



熱中症把握システム「カオカラ」を株式会社 ポーラメディカル 様から御提供いただき、プール指導や、社会見学等夏場の校外での活動時に児童・生徒の体調管理を確実に行うことができました。

プールの対策



プールの熱中症対策として、近隣企業・菊池重設様に御協力いただき、S 棟プールに遮光ネットを設置していただきました。また、ミストファンや、ミストアーチを導入し、プール室内のWBGTを活動可能な範囲内におさえることができました。また、猛暑日は、活動時間を減らすなどの工夫もしたことで、今年度はどの学年もおおむね計画段階と同様の回数(約 9割)入水することができました。

平均入水回数: 8回



未来への人材育成

介護等体験生受入拡大

大 学 名	希望者数	内定者数
國學院大學	9	9
駒澤大学	18	18
上智大学	30	30
大東文化大学	9	9
帝京大学	16	16
東京農業大学	32	32
東洋大学	61	61
二松学舎大学	18	18
日本大学法学部	12	12
日本大学文理学部	41	41
日本大学理工学部	25	25
日本体育大学	20	20
文化学園大学	36	36
武蔵野大学	60	60
明治大学	20	20
立教大学	33	33



知的障害教育部門中学部体育発表会 介護等体験生の体験様子

本校は今年度16の大学から440名の介護等体験生を受け入れました。

内25名の学生は、知的障害教育部門中学部体育発表会において予行練習及び本番に参加し、生徒と共に一つの行事を成し遂げる経験をしました。

教員を目指す未来の人材育成に力を入れています。

医療・看護関係実習、講義の充実【専門学校対象】



東京医薬看護学校臨地実習 本校主幹教諭による医療的ケア講義

本校は、教育系だけでなく、医療や福祉関係の体験実習も多く受け入れています。

肢体不自由教育部門の医療的ケアの見学や、学校医の検診の見学の他、

本校の医療的ケアの取組について講義を行っております。肢体部門だけでなく、知的障害教育部門も体験していただき、様々な児童・生徒と関わっていただく機会を設定しています。

また、本校校長が、慶応義塾大学小児看護学演習の講義や、東京医薬看護専門学校において講義を行っております。

特別な支援を必要とする子供たちへの支援者を増やせるよう理解啓発を目指しています。

療育実習(慈恵会医科大学)	6名	慶応義塾大学		
見学実習(東京医薬看護専門学校)	36名	小児看護学演習 校長	6月24日(火)	100名
見学実習(愛国学園専攻科)	33名	東京医薬看護専門学校		
臨地実習(愛国学園高等学校)	35名	講義 校長	11月13日(木)	35名
TCA東京ECO動物海洋専門学校	4名			

福祉・教育連携、講義の充実

大学	教育実習	7名
栄養士	栄養実習	1名
中学生	職場体験	2名

実習受け入れ

今年度、教育実習7名、栄養実習1名、中学生の職場体験2名を受け入れています。

	団体	日時	実施者	参加者数
①	江戸川区コーディネーター研修	5月9日(金)	コーディネーター	100名
②	江戸川区立春江中学校 理解推進授業	5月14日(水)	コーディネーター	139名
③	江戸川区立春江中学校 校内研修会	5月14日(水)	コーディネーター	23名
④	江戸川区特別支援教育推進研修	5月23日(月)	コーディネーター	24名
⑤	江戸川区特別支援教育推進研修	6月23日(月)	コーディネーター	40名
⑥	慶応義塾大学 小児看護学演習 校長	6月24日(火)	校長	100名
⑦	特別支援教室保護者学習・相談会	7月31日(木)	コーディネーター	50名
⑧	保育園発達支援コーディネーターステップアップ研修	8月27日(水)	コーディネーター	40名
⑨	江戸川区立清新ふたば小学校校内研修会	8月28日(木)	コーディネーター	30名
⑩	江戸川区立南葛西第二中学校特別支援教育研修会	8月29日(金)	コーディネーター	20名
⑪	東京医薬看護専門学校講義 校長	11月13日(木)	校長	35名
⑫	江戸川区立東葛西中学校	12月16日(火)	コーディネーター	20名
⑬	江戸川区特別支援学級・学校進路フェア	3月15日(日)	校長	70名

主な支援先一覧

コーディネーターを中心に、センター的機能を発揮して、近隣の小中学校等において、講義を行い、通常学級の教員対象に特別支援教育への理解啓発に努めています。

未来への人材育成を目指して、より共生社会の推進を進めてまいります。

令和7年度 東京都立鹿本学園事業報告書

Connect

～未来へつなぐ鹿本学園の取組～

東京都立鹿本学園

統括校長 堀江 浩子

〒133-0044 東京都江戸川区本一色2-24-11

電話:03-3653-7355

ファクシミリ:03-3652-3007

E-mail:S8000853@section.metro.tokyo.jp

ホームページ:<https://shikamotogakuen-sh.metro.ed.jp>



令和8年3月発行